

Withコロナと災害—どう創るニューノーマル

日程 2021年1月9日(土)～10日(日)

2020年1月新型コロナウイルス感染症という新たな災害が突如として現れ、全世界を震撼させた。その終息も見えないなか、記録的な大雨によって九州をはじめとした各地で大地が泥水に埋め尽くされた。人類の発展のために自然界の境界線を越えたことによって表出した未知のウイルス、地球温暖化による気象の変化、都市の一極集中によって疲弊する過疎地を襲う更なる試練。コロナ禍において新しい生活様式(ニューノーマル)という言葉が多用された。新たな日常とは何か。私たちはどのようなニューノーマルを作っていくのだろうか。

1995年阪神・淡路大震災によって多様な人々が様々なかたちで「つながる」ことの大切さを学んだ。そのつながりが分断されようとしているのではないか。新型コロナウイルス感染症から命を守ることは大切だが、そのために苦しんでいる被災者を見逃すことがあってはならない。思考停止に陥らず、この状況から生まれた新たなつながりを見つめ、今後の災害支援、そして社会のあり方を考える。

全国被災地交流集会「円卓会議」

2021年1月9日(土) 13:00～17:30

関西学院会館レセプションホール(兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155)

テーマ: Withコロナと災害ボランティア
—立ちすくむ社会から見出す新たなつながり—

令和2年7月豪雨災害によって九州では甚大な被害がでた。しかし、コロナ禍において「不要不急」が叫ばれ、一般ボランティア募集は県内に限定された。多くの専門性をもった外部支援団体や経験のあるボランティアらが被災地へ入ることを躊躇し、県内の支援団体が試行錯誤しながら活動を行っている。その中で高校生や大学生など地元の若者が奮闘している。阪神・淡路大震災においても多くの若者が被災地を訪れ被災者と支援に携わった。第1部ではボランティア活動をする学生の声を聴く場とする。さらに第2部では経験を培った外部の支援団体が入れない中、地元のネットワークのなかで奮闘している当事者らの声を聴く場とする。

●プログラム

- 第一部 学生円卓会議—私たちの復興—
- 第二部 Withコロナと災害ボランティア
—立ちすくむ社会から見出す新たなつながり—
- 第三部 全体討論会

司会: 斉藤 容子(関西学院大学災害復興制度研究所主任研究員・准教授)

シンポジウム(敬称略)

2021年1月10日(日) 13:00～16:30

関西学院会館レセプションホール(兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155)

■基調講演
「Withコロナと災害—どう創るニューノーマル」
藻谷 浩介(株式会社日本総合研究所 主席研究員)

■パネル討論
「新たな社会の再生に向けて—現場からのメッセージ」

《パネリスト》(50音順)

栗田 匡相(関西学院大学経済学部准教授・災害復興制度研究所運営委員)

西澤 真理子(リテラジャパン代表)

麦倉 哲(岩手大学教育学部/地域防災研究センター教授)

渡邊 格(鳥取県智頭町タルマーリー店主)

《コーディネーター》

岡田 憲夫(京都大学名誉教授・関西学院大学災害復興制度研究所顧問)

申し込み方法(参加無料)

参加ご希望の方は会場参加希望かオンライン参加希望のいずれかを選択の上、裏面のQRコードまたは参加申し込み用紙にてお申し込みください。

関西学院大学 災害復興制度研究所

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155 URL <http://www.fukkou.net/> TEL.0798-54-6996 FAX.0798-54-6997 E-mail:fukkou-entry@kwansei.ac.jp

[主催] 関西学院大学 災害復興制度研究所 [共催] 日本災害復興学会 [後援] 朝日新聞社

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場への入場制限を実施したうえでの開催となります。また、新型コロナウイルス感染拡大の状況等により急遽中止する場合がございます。